

■発行：平成23年5月20日

## 庄原市議会新体制スタート

2p 議長・副議長あいさつ  
議会構成決まる

## 4月臨時会

3p 議決結果

## 3月定例会

4p 主な議案

6p 平成23年度予算可決

7p 議決結果

10p 一般質問(会派代表)

12p 一般質問(個人)

## その他

16p 庄原市と環境ベンチャー企業(株)ジュオン)  
との共同事業に関する調査特別委員会  
最終報告

18p 議会基本条例を制定しました

市議会だより

しほら

第26号

*Shobara city council magazine*

# 一面に広がる春の香り

(国営備北丘陵公園)







# 庄原市議会

# 新体制スタート

## 就任のあいさつ

議長 あいさつ

議長 竹内 光義



副議長 あいさつ

副議長 門脇 俊照



このたびの市議会臨時会におきまして、引き続き議長職を務めさせていただくことになりました。光栄に思いますとともに、その職務の重責について改めて強く感じております。

さて、現在、庄原市議会の置かれている状況は非常に厳しい状況にあることを肌で感じております。本年4月に施行された議会基本条例に魂を入れて、さら

このたび、副議長の要職に就くことになりました。微力ではございますが、議長とともに市民の負託にこたえる議会づくりに取り組んでまいります。

東日本大震災は、私たちの住む中山間地域にも財政支援などの面において大きな影響があるように思います。議員の大きな責任である予算・決算審査をし

なる議会改革と議会の活性化、そして、市民の皆さんから信頼される庄原市議会をめざし、力いっぱい汗をかいて努力をしてまいります。

今まで以上に、市長をはじめ、市民の皆さん、議員各位と一緒に庄原市のまちづくりをがんばりたいと思っておりますので、皆さんのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

つかりと行う中、是は是非は否としてしっかりと物言える議会に向けて、制定された議会基本条例ののっとり、さらなるレベルアップを図ってまいります。

住んでよかったと思っていただけの庄原づくりに、皆さんと一緒にまい進したいと思っておりますので、より一層のご指導、ご鞭撻を心からお願い申し上げます。

4月 APRIL 臨時会

議会構成 決まる

平成23年4月臨時会において、新しい委員会構成などが決まりました。なお、各委員会の委員の任期は2年です。

総務財政常任委員会

9人

委員長 谷口隆明  
副委員長 徳永泰臣

- 委員 平山俊憲
- 委員 八谷文策
- 委員 佐々木信行
- 委員 野崎幸雄
- 委員 宇江田豊彦
- 委員 竹内光義
- 委員 岡村信吉

(所管)

- 総務課、企画課、財政課、管財課、自治振興課、情報政策課、税務課、危機管理課、会計課、選挙管理委員会、監査委員事務局、公平委員会、固定資産評価審査委

議長

竹内 光義

副議長

門脇 俊照

議会選出監査委員

岡村 信吉

# 臨時会議決結果

会期 4月25日 1日限り

事 件 名	議決結果	議席		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	
		賛成(人)	反対(人)	徳永 泰臣	福山 権二	坂本 義明	横路 政之	林 高正	中原 巧	田中 五郎	岡村 信吉	名越 峯壽	赤木 忠徳	垣内 秀孝	西村 和正	竹内 光義	藤山 明春	藤木 邦明	門脇 俊照	小谷 鶴義	宇江田豊彦	野崎 幸雄	佐々木信行	八谷 文策	谷口 隆明	和田 満福	加島 英俊	平山 俊憲	
専決処分承認を求めることについて(庄原市国民健康保険条例の一部を改正する条例)	承認	24	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分承認を求めることについて(庄原市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	承認	24	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分承認を求めることについて(平成23年度庄原市一般会計補正予算(第1号))	承認	24	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
庄原市農業委員会の選挙による委員定数及び選挙区設定条例の一部を改正する条例	原案可決	23	1	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
財産の取得について〔雇用促進住宅の土地・建物〕	原案可決	24	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成23年度庄原市一般会計補正予算(第2号)	原案可決	24	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
庄原市監査委員の選任に同意を求めることについて〔岡村信吉氏〕	同意	23	0	○	○	○	○	○	○	○	除	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

【表示例】 ○…賛成 ×…反対 議長…議長職 除…除斥

委員及び議会議務局の所管に属する事項並びに他の常任委員会に属しない事項

### 教育民生常任委員会

8人

委員長  
副委員長  
委員

- 福山 権二
- 横路 政之
- 加島 英俊
- 小谷 鶴義
- 門脇 俊照
- 藤木 邦明
- 垣内 秀孝
- 田中 五郎

### (所管)

市民生活課、保健医療課、社会福祉課、高齢者福祉課、女性児童課、教育委員会及び西城市民病院の所管に属する事項

### 産業建設常任委員会

8人

委員長  
副委員長  
委員

- 赤木 忠徳
- 坂本 義明
- 和田 満福
- 和山 明春
- 藤村 和正
- 西村 和正
- 名越 峯壽
- 中原 巧
- 林 高正

### (所管)

農業振興課、林業振興課、商工観光課、環境政策課、建設課、農村整備課、都市整備課、下水道課、簡易水道課、農業委員会及び水道課の所管に属する事項

### 議会運営委員会

8人

委員長  
副委員長  
委員

- 垣内 秀孝
- 林 高正
- 和田 満福
- 和山 明春
- 谷口 隆明
- 八谷 文策
- 佐々木 信行
- 宇江田 豊彦
- 坂本 義明

### 議会広報委員会

5人

委員長  
副委員長  
委員

- 門脇 俊照
- 谷口 隆明
- 福山 権二
- 赤木 忠徳
- 竹内 光義

# 3月 March 定例会

## 主な 議案



平成23年3月定例会に提出された議案の  
主なものは次のとおりです。  
なお、いずれも原案どおり可決されました。

### 議案第9号

庄原市特別職の職員及び  
庄原市教育委員会教育長の  
給料月額の特例に関する条例

特別職の職員の給与を時限的  
に減ずる特例措置を講ずるため、  
条例を制定するものです。  
※これにより、市長は給与月額  
の10%、副市長7.5%、教育  
長5%の減額になります。

### 議案第8号

庄原市職員の  
再任用に関する条例

定年等で退職した職員の再任  
用制度を設けるため、条例を制  
定するものです。  
総務財政常任委員会に付託し、  
審査しました。

### 議案第10号

庄原市三楽荘設置及び  
管理条例

庄原市三楽荘を新たに設置す  
るため、制定するものです。  
産業建設常任委員会に付託し、  
審査しました。

### 議案第16号

庄原市国民健康保険税  
条例の一部を改正する条例

保険財政の運営に必要な税収  
を確保することを目的として、  
国民健康保険税率を改正するも  
のです。  
教育民生常任委員会に付託し、  
審査しました。

### 議案第26号

財産の取得について

保育所施設整備事業用地(庄  
原保育所移転用地)を取得する  
ものです。  
※取得予定価格 1億6,75  
7万162円

### 議案第22号

古頃老人集会所  
森脇老人集会所

地元との協議の整った集会所  
建物を地元へ無償譲渡し、地元  
管理の集会所とするものです。

### 議案第23号

森脇老人集会所

地元との協議の整った集会所  
建物を地元へ無償譲渡し、地元  
管理の集会所とするものです。

### 議案第11号

庄原市行政組織条例の  
一部を改正する条例

組織機構の見直しにより、政  
策推進課の廃止等、所要の改正  
を行うものです。  
総務財政常任委員会に付託し、  
審査しました。

## 指定管理者の指定について(新規のもの、賛否のわかれたもの)

議案番号	施設の名称	指定管理者	指定期間
⑨★議案第32号	庄原市八鈴自治振興センター	八鈴自治振興区設立準備会	平成23年4月1日～平成28年3月31日
	庄原市田森自治振興センター	田森自治振興区設立準備委員会	
	庄原市久代自治振興センター	久代自治振興区設立準備委員会	
	庄原市新坂自治振興センター	新坂自治振興センター移行準備委員会	
	庄原市上高自治振興センター	上高自治振興センター設立準備委員会	
	庄原市下高自治振興センター	下高自治振興センター設立準備委員会	
⑨議案第33号	庄原市小奴可自治振興センター	小奴可地区自治振興区統合準備会	平成23年4月1日～平成28年3月31日
⑨★議案第42号	庄原市東城クリーンセンター	東城クリーンセンター指定管理業務共同企業体	平成23年4月1日～平成26年3月31日
★議案第47号	庄原市立庄原北保育所	庄原市総合サービス株式会社	平成23年4月1日～平成28年3月31日
	庄原市立三日市保育所		
★議案第50号	庄原市総合体育館(さくらアーチ)	庄原市総合サービス株式会社	平成23年4月1日～平成28年3月31日
★議案第51号	庄原市テニスコート	庄原市総合サービス株式会社	平成23年4月1日～平成28年3月31日
	庄原市多目的広場		
	庄原市多目的広場クラブハウス		
	庄原市運動広場		
	庄原市戸宇スポーツ広場	戸宇自治振興区	
★議案第52号	庄原市水泳プール	庄原市総合サービス株式会社	平成23年4月1日～平成28年3月31日
★議案第58号	庄原市高野福祉保健センター	社会福祉法人庄原市社会福祉協議会	平成23年4月1日～平成28年3月31日

⑨…新規のもの ★…賛否のわかれたもの



工事請負契約の締結について

議案第79号

庄原市立庄原中学校改築工事  
 (校舎棟建築・電気設備工事)の  
 請負契約を締結するものです。  
 ※請負金額 13億4,190万円  
 ※請負業者 小林建設株式会社  
 株式会社玉川工務店 庄原中  
 学校改築工事(校舎棟建築・電  
 気設備工事)特定建設工事共  
 同企業体  
 代表者 小林建設株式会社  
 代表取締役 小林茂樹

議案第80号

庄原市立庄原中学校改築工事  
 (校舎棟・特別教室棟機械設備工  
 事)の請負契約を締結するもの  
 です。  
 ※請負金額 3億2,385万  
 1,500円  
 ※請負業者 中電工・スイセイ  
 設備特定建設工事共同企業体  
 代表者 株式会社中電工 庄  
 原営業所  
 所長 小田治夫

平成22年度庄原市

一般会計補正予算(第10号)

議案第113号

東北地方太平洋沖地震災害に  
 対する支援経費、市道除雪委託  
 料を3,405万円追加するも  
 のです。

このたびの東北地方太平洋沖地震により、被災された方々  
 に心からお見舞い申し上げます。  
 平成23年3月30日、本市議会議員25人は、被災者の救援・  
 被災地域の復興支援に役立てていただくため、義援金25万  
 円を送りました。この義援金は、全国市議会議長会が取りま  
 とめ、日本赤十字社等を通じて被災地域に送られました。  
 各市の1日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

人事

すべて同意されました。

庄原市副市長の選任に  
同意を求めることについて

総領町亀谷四六〇番地五  
 矢吹有司氏

庄原市固定資産評価員の  
 選任に同意を求めること  
 について

総領町亀谷四六〇番地五  
 矢吹有司氏

固定資産評価審査委員会  
 委員の選任に同意を求め  
 ることについて

西本町二丁目十五番三号  
 石丸弘明氏

西城町中野一九六番地二  
 牧原正治氏

東城町菅七一番地一  
 奥田泰幹氏

庄原市教育委員会委員の  
 任命の同意について

西城町西城七六番地  
 中山智恵子氏

庄原市公平委員会委員の  
 選任に同意を求める  
 ことについて

比和町比和八一九番地  
 津秋法宣氏

人権擁護委員候補者の推薦に  
 意見を求めることについて

本村町七一八番地  
 片山愼子氏

一木町三五一番地  
 吉光典子氏

川北町八九〇番地一〇  
 西村美智子氏

西城町八鳥一四九六番地  
 古川由紀氏

西城町熊野七八〇番地  
 藤崎幸恵氏

東城町小奴可一六五二番地  
 堀田雅俊氏

比和町三河内九二四番地  
 松澤雅行氏

比和町木屋原八三九番地一  
 積山幸枝氏



# 平成23年度 予算

<b>一般会計</b>	325億1,426万5,000円 (前年度対比2.5%増)
<b>特別会計</b>	133億7,693万8,000円 (前年度対比3.8%増)
<b>企業会計</b>	25億3,178万1,000円 (前年度対比7.5%減)

各会計予算案は、3月3日開会の第2回定例会に上程され、議長を除く議員全員で構成する予算審査特別委員会を設置、付託されました。同特別委員会では、3月7日から9日にかけて3つの分科会に分かれて関係執行者の出席を求めて審議しました。

定例会最終日の3月25日、予算審査特別委員会委員長から審議の経過及び結果についての報告がありました。委員長報告の後、討論が行われ、採決の結果、それぞれ原案どおり可決されました。

## 一般会計の主な施策

<p>● <b>高野観光交流ターミナル(道の駅)整備</b></p> <p>4億4,292万5,000円</p> <p>中国横断自動車道尾道松江線の開通に向け、庄原市高野観光交流ターミナル(道の駅)を整備し、地域産業の振興や文化の交流を促進し、地域の活性化を図る。</p>	<p>● <b>未来創造</b></p> <p>2,100万2,000円</p> <p>雪室活用、高野の逸品100の開発・販売強化、高野ICから地域へ観光客を誘導する着地型観光を推進する。</p>
<p>● <b>障害者の支援</b></p> <p>3,646万7,000円</p> <p>一定級以上の障害を有する市民に対するタクシーの乗車券交付について、1人当たりの年間交付枚数を60枚から72枚に拡大。また、障害者関係団体の運営・活動の支援などを行う。</p>	<p>● <b>保育所の整備</b></p> <p>2億184万6,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 庄原保育所移転改築(平成22～24年度)</li> <li>● 高野保育所(仮称)移転改築</li> <li>● 八幡保育所耐震補強 ほか</li> </ul>
<p>● <b>自治振興区の活動促進補助と運営支援</b></p> <p>2億8,833万4,000円</p> <p>自治振興区の運営・活動を支援するため交付金を交付。新規事業として、自治振興センターのある地区で、地域マネージャーの配置を希望する自治振興区に対し、マネージャーの経費を上乗せ交付する。</p>	<p>● <b>庄原赤十字病院の増改築資金助成</b></p> <p>2億3,719万7,000円</p> <p>平成23年より建物の安全面の確保や診療機能の強化等、大規模な増改築工事(西棟他)が行われる。南棟増改築償還助成に加え、この工事に対して、建設補助及び償還助成を行う。</p>
<p>● <b>医療従事者育成奨学金貸付事業</b></p> <p>4,512万5,000円</p> <p>将来、医師・看護師・助産師及び准看護師として市内の医療機関等に勤務しようとする方に対し、奨学金を貸付け、本市の医療を支える人材を育成し地域医療体制の確保、充実を図る。</p>	<p>● <b>まちなみの整備</b></p> <p>1,802万円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 東城町屋建造物保存事業(三楽荘管理運営)</li> <li>● 東城駅前ポケットパーク整備 ほか</li> </ul>
<p>● <b>有害鳥獣防除</b></p> <p>1億6,276万2,000円</p> <p>イノシシを中心とした有害鳥獣に対して、国の交付金を活用し、集落全体を防護する防護柵の設置を重点的に実施し、農業被害の縮減と、農業生産意欲の向上を図る。(クマ捕獲用箱わな・小型獣捕獲用かごわなの購入 ほか)</p>	<p>● <b>防災対策</b></p> <p>1,808万8,000円</p> <p>気象や水位等の正確な観測データの把握・管理・分析を行い、専門的視点も加えた上での災害を未然に防ぐ初動体制の確立を図るなど、防災対策を行う。</p>
	<p>● <b>庄原中学校改築事業</b></p> <p>14億3,671万8,000円</p> <p>平成21年度に基本計画等に着手した、庄原中学校の校舎・屋体(武道場含む)を全面改築(建替)し、安全・安心な学校づくりを図る。(平成22～25年度)</p>

平成23年3月

# 定例会議決結果

(賛否のわかれたもの)

会期

3月3日～3月25日

23日間

議決日	種類	番号	事件名	議決結果	議席		議員																								
					表決		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
					賛成(人)	反対(人)	徳永 泰臣	福山 権二	坂本 義明	横路 政之	林 高正	中原 巧	田中 五郎	岡村 信吉	名越 峯壽	赤木 忠徳	垣内 秀孝	西村 和正	竹内 光義	藤山 明春	藤木 邦明	門脇 俊照	小谷 鶴義	宇江田 豊彦	野崎 幸雄	佐々木 信行	八谷 文策	谷口 隆明	和田 満福	加島 英俊	平山 俊憲
3月18日	議案	79	工事請負契約の締結について(庄原中学校改築工事)	原案可決	22	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		42	指定管理者の指定について(東城クリーンセンター)	原案可決	20	4	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		32	指定管理者の指定について(八銚・田森・久代・新坂・上高・下高の各自治振興センター)	原案可決	23	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		47	指定管理者の指定について(三日市保育所、北保育所)	原案可決	19	5	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		50	指定管理者の指定について(総合体育館)	原案可決	23	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		51	指定管理者の指定について(テニスコート、多目的広場、クラブハウス、運動広場、戸宇スポーツ広場)	原案可決	23	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		52	指定管理者の指定について(水泳プール)	原案可決	23	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		58	指定管理者の指定について(高野福祉保健センター)	原案可決	23	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
3月25日	議案	84	平成22年度庄原市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	原案可決	22	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
		8	庄原市職員の再任用に関する条例	原案可決	20	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
		10	庄原市三楽荘設置及び管理条例	原案可決	17	6	○	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
		11	庄原市行政組織条例の一部を改正する条例	原案可決	16	7	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
		16	庄原市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決	18	5	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
		98	庄原市副市長の選任に同意を求めることについて(矢吹有司 氏)	同意	22	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
		62	平成23年度庄原市一般会計予算	原案可決	22	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
		64	平成23年度庄原市歯科診療所特別会計予算	原案可決	22	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
65	平成23年度庄原市国民健康保険特別会計予算	原案可決	20	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					

【表示例】 ○…賛成 ×…反対 欠…欠席 議長…議長職 棄…棄権



## 平成23年3月 定例会議決結果 (賛成全員のもの)

議決日	種類	番号	事 件 名	議決結果
3月3日	議案	9	庄原市特別職の職員及び庄原市教育委員会教育長の給料月額の特例に関する条例	原案可決
		12	庄原市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
		13	庄原市公立学校体育施設の開放に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
		14	庄原市へき地保育所設置及び管理条例の一部を改正する条例	原案可決
		18	庄原市営住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例	原案可決
		19	庄原市水洗便所改造資金融資あっせん及び利子補給に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
		20	庄原市農業集落排水処理施設設置及び管理条例の一部を改正する条例	原案可決
		21	庄原市防災会議設置条例の一部を改正する条例	原案可決
		15	庄原市老人集会所設置及び管理条例の一部を改正する条例	原案可決
		22	財産の無償譲渡について〔古頃老人集会所建物〕	原案可決
		23	財産の無償譲渡について〔森脇老人集会所建物〕	原案可決
		17	庄原市農村集会所施設設置及び管理条例の一部を改正する条例	原案可決
		25	財産の無償譲渡について〔三草集会所建物〕	原案可決
		24	財産の無償譲渡について〔西城小学校山家季節分校土地建物〕	原案可決
		26	財産の取得について〔保育所施設整備事業用地〕	原案可決
27	財産の取得について〔移動通信用無線設備〕	原案可決		
28	財産の取得について〔移動通信用無線設備〕	原案可決		
31	土地改良事業計画の変更について〔深石地区〕	原案可決		

※藤木邦明議員、藤山明春議員欠席

議決日	種類	番号	事 件 名	議決結果
3月18日	議案	80	工事請負契約の締結について〔庄原中学校改築工事(機械設備工事)〕	原案可決
		29	庄原市過疎地域自立促進計画の一部変更について	原案可決
		30	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	原案可決
		33	指定管理者の指定について〔小奴可自治振興センター〕	原案可決
		49	指定管理者の指定について〔日向集会所〕	原案可決
		34	指定管理者の指定について〔比和・黒目・亀谷・五領・上市・稲草西・木屋の各自治振興会館〕	原案可決
		35	指定管理者の指定について〔根本田会館〕	原案可決
		36	指定管理者の指定について〔熊野農産物加工施設、東城農産物加工施設、東城農村資源活用施設、東城農産物直売施設、高野山村交流施設、高野ファーマーズマーケット〕	原案可決
		37	指定管理者の指定について〔大久保多目的乾燥施設、貝の平しいたけ不時栽培施設、峰田竹の里工房、総領共同農機具等格納庫、総領共同飼育所・たい肥舎〕	原案可決
		39	指定管理者の指定について〔農村青年会館〕	原案可決
		40	指定管理者の指定について〔大屋農村広場、小鳥原農村公園、太山寺緑地休養公園〕	原案可決
		41	指定管理者の指定について〔畜産技術センター、東城・小奴可・帝釈・口和の各堆肥センター、口和飼料稲・稲わら保管施設〕	原案可決
		43	指定管理者の指定について〔小奴可デイサービスセンター、総領デイサービスセンター〕	原案可決
		44	指定管理者の指定について〔菅・受原地区・帝釈山中地区・小串地区・高野地区・新免地区・保田地区・福代地区・始終地区・湯川・三河内の各老人集会所〕	原案可決
		45	指定管理者の指定について〔いこいの里きた、ふれあいの里たか、峰田ふれあいの広場、本村よもやま館、ふれあいの里福田、ふれあいの里木屋原、ふれあいの里越原〕	原案可決
		46	指定管理者の指定について〔西城高齢者等生活支援施設、東城小規模老人ホーム有栖川荘、口和自立支援型グループホーム、高野高齢者生活福祉センター、総領トータルケアホームゆう愛〕	原案可決
		48	指定管理者の指定について〔茶屋集会所ほか15施設〕	原案可決
		53	指定管理者の指定について〔東城健康増進施設〕	原案可決
		54	指定管理者の指定について〔東城中央運動公園〕	原案可決
		55	指定管理者の指定について〔宮原ふれあい広場〕	原案可決
		56	指定管理者の指定について〔口和保健センター・口和老人福祉センター〕	原案可決
		57	指定管理者の指定について〔口和地域ケアセンター〕	原案可決
		59	指定管理者の指定について〔総領高齢者活動センター、総領高齢者能力活用センター、総領夢語りの家〕	原案可決
		60	指定管理者の指定について〔総領山野草育苗センター〕	原案可決
		61	指定管理者の指定について〔下領家自治振興会館・総領癒しの家〕	原案可決



議決日	種類	番号	事 件 名	議決結果	
3月25日	議案	81	平成22年度庄原市一般会計補正予算(第9号)	原案可決	
		82	平成22年度庄原市住宅資金特別会計補正予算(第1号)	原案可決	
		83	平成22年度庄原市歯科診療所特別会計補正予算(第1号)	原案可決	
		85	平成22年度庄原市国民健康保険特別会計(直診勘定)補正予算(第3号)	原案可決	
		86	平成22年度庄原市老人保健特別会計補正予算(第1号)	原案可決	
		87	平成22年度庄原市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	原案可決	
		88	平成22年度庄原市介護保険特別会計補正予算(第4号)	原案可決	
		89	平成22年度庄原市介護保険サービス事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	
		90	平成22年度庄原市公共下水道事業特別会計補正予算(第5号)	原案可決	
		91	平成22年度庄原市農業集落排水事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決	
		92	平成22年度庄原市浄化槽整備事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決	
		93	平成22年度庄原市簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決	
		94	平成22年度庄原市宅地造成事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	
		95	平成22年度庄原市水道事業会計補正予算(第4号)	原案可決	
		96	平成22年度庄原市国民健康保険病院事業会計補正予算(第4号)	原案可決	
		113	平成22年度庄原市一般会計補正予算(第10号)	原案可決	
		97	指定管理者の指定について〔山奥生活改善センターほか24施設〕	原案可決	
		99	庄原市固定資産評価員の選任に同意を求めることについて〔矢吹有司氏〕	同 意	
		100	庄原市教育委員会委員の任命の同意について〔中山智恵子氏〕	同 意	
		101	庄原市公平委員会委員の選任に同意を求めることについて〔津秋法宣氏〕	同 意	
		102	固定資産評価審査委員会委員の選任に同意を求めることについて〔石丸弘明氏〕	同 意	
		103	固定資産評価審査委員会委員の選任に同意を求めることについて〔牧原正治氏〕	同 意	
		104	固定資産評価審査委員会委員の選任に同意を求めることについて〔奥田泰幹氏〕	同 意	
		105	人権擁護委員候補者の推薦に意見を求めることについて〔片山愼子氏〕	同 意	
		106	人権擁護委員候補者の推薦に意見を求めることについて〔吉光典子氏〕	同 意	
		107	人権擁護委員候補者の推薦に意見を求めることについて〔西村美智子氏〕	同 意	
		108	人権擁護委員候補者の推薦に意見を求めることについて〔古川由紀氏〕	同 意	
		109	人権擁護委員候補者の推薦に意見を求めることについて〔藤崎幸恵氏〕	同 意	
		110	人権擁護委員候補者の推薦に意見を求めることについて〔堀田雅俊氏〕	同 意	
		111	人権擁護委員候補者の推薦に意見を求めることについて〔松澤雅行氏〕	同 意	
		112	人権擁護委員候補者の推薦に意見を求めることについて〔積山幸枝氏〕	同 意	
		63	平成23年度庄原市住宅資金特別会計予算	原案可決	
		66	平成23年度庄原市国民健康保険特別会計(直診勘定)予算	原案可決	
		67	平成23年度庄原市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	
		68	平成23年度庄原市介護保険特別会計予算	原案可決	
		69	平成23年度庄原市介護保険サービス事業特別会計予算	原案可決	
		70	平成23年度庄原市公共下水道事業特別会計予算	原案可決	
		71	平成23年度庄原市農業集落排水事業特別会計予算	原案可決	
		72	平成23年度庄原市浄化槽整備事業特別会計予算	原案可決	
		73	平成23年度庄原市簡易水道事業特別会計予算	原案可決	
		74	平成23年度庄原市工業団地造成事業特別会計予算	原案可決	
		75	平成23年度庄原市宅地造成事業特別会計予算	原案可決	
		76	平成23年度庄原市水道事業会計予算	原案可決	
		77	平成23年度庄原市国民健康保険病院事業会計予算	原案可決	
		78	平成23年度庄原市比和財産区特別会計予算	原案可決	
		発議	1	庄原市議会基本条例	原案可決
			2	地方自治法第96条第2項の規定による議会の議決すべき事件を定める条例	原案可決
			3	庄原市議会議員政治倫理条例	原案可決
			4	庄原市議会委員会条例の一部を改正する条例	原案可決
			5	国民健康保険の広域化に反対し、国庫負担の復元を求める意見書	原案可決

※藤木邦明議員欠席 ※発議第4号・第5号は、藤山明春議員欠席

# 一般質問

3月の定例会では、会派代表質問4名、個人質問7名が一般質問を行いました。この記事は、要旨をまとめたものです。

## 会派代表質問

〔会派〕 清政会



田中 五郎 議員

### 重点戦略 プロジェクトについて

**問** 農業自立振興プロジェクトについて、成果と課題をどう整理し、以後の対応をしようとしているのか。

### 答

これまでの主な成果は、農産物販売業務において、庄原産直市八木店を中心に、21年度の販売額は約1億4000万円、出荷登録会員も4500名を超えている。また、市営農指導員を中心に実施した野菜栽培講座には、20年度から22年度までの3年間に、800名を超える方の参加をいただいている。さらに、畜産においては、繁殖用和牛の共同飼育への支援を行う中で、グループ飼育から法人化されたものを含む7法人が共同飼育を開始されている。国・県においては、集約化、合理化による大規模かつ効率的な農業経営を推進しているが、本市のような中山間地域では、地理的制約等から、国・県の進める施策のみでは、担い手の確保・育成が十分に行えない等、農業課題の解決に至らない状況がある。国・県の制度、施策と連動した取り組みを進めるとともに、併せて、本プロジェクトによる小規模農業者等への取り組みを継続することで、多様な農業者を支援していきたい。

### 情報収集と 職員力向上について

### 問

自己研修制度の成果と課題点は。

### 答

22年度から、自らその資質を高める研修を実施するため、自己申告による職場外研修を始めたところである。成果については、①職員が希望する内容を自ら選定して参加することにより、よりモチベーションの高い研修となる。②担当する仕事の年間スケジュールを考えながら、負担の少ない時期に参加することができ、③民間機関が主催する研修など、視点を変えた研修にも参加し、幅広い内容の研修が可能になったと考えている。

問題点としては、職員間で研修に対する意欲の差等により、研修機会の均等性に差が生じていることなどが考えられる。研修成果については、参加者に対し、日常の仕事のなかで反映するよう努めなければならぬとしているが、適当な時期には、その成果についての検証が必要ではないかと考えている。

### その他の質問

- 光ファイバー網の整備について
- 組織機構の見直しを
- まちづくり基本条例について

〔会派〕 野の風



和田 満福 議員

### 災害復旧について

### 問

23年度においてどの程度復旧できるのか。農地・農業用施設の完全復旧は何年後になるのか。

### 答

農地・農業用施設、林道災害の内訳は、農地124カ所、農業用施設138カ所、林道1カ所の計263カ所で、合計は10億3,743万8,000円である。そのうち、5月22日から7月15日までに発生した災害については、23年度中の工事完了を見込んでいる。残る7月16日発生豪雨災害による農地、農業用施設の計173件のうち110件を22年度中に発注し、残りの63件を23年度に発注する予定である。早期復旧に向け全力で取り組んでいくが、23年度中の完全

### 観光振興について

### 問

さとやま博の成果・評価は。また、今後の展開はどうか。

### 答

オープニング以来、約半年が経過しようとしている。その間、企画イベント、既存イベントとの連携体験メニューの企画開発、庄原市発着の「さとバスツアー」、旅行会社の企画ツアー誘致、内外に向けたPR活動など実施計画に基づく様々な事業を実施している。今年度はまだ事業を実施中であり、成果と課題の取りまとめ、入り込み客数、観光消費額などの調査も並行して進めている。今年度の全体の取りまとめをした後、内容の分析を行い、この成果と課題を来年度の事業運営に活かして、さとやま博の開催による庄原らしい新たな観光スタイルの創造に向けて取り組みを一層強化し、事業を進めていきたい。



一般質問

**答** 新庄原市の市長として、はや6年が経過しようとしている。この間、多くの試練を乗り越えながら着手してきた様々な

**問** 極めて厳しい経済・雇用情勢への対応によって、地域活性化の展開が見えはじめ、手ごたえを感じているのか。

平成23年度  
施政方針について



う え だ と よ ひ こ  
宇江田豊彦 議員

【会派】市民の会

その他の質問  
○安心して暮らせるまちをつくるために(少子高齢化対策)  
○農林業振興について  
○働く場所の確保について  
○教育・スポーツ・文化・芸術の充実について  
○商業振興について  
○道路網の拡充について  
○職員の資質向上について

**答** 市政運営の指針となる庄原市長期総合計画の

**問** 協働のまちづくりの基礎は、人権確立をめざすまちづくりであると考えますが、協働の力で笑顔が輝くまちの市長の認識を伺う。

引き続き、経済対策をはじめ、本市の強みである農村・農林業資源を最大限活用すること、地域内の経済循環を創出し、市民所得の向上と地域の活性化を図ることができるよう、「みどりの環経済戦略プロジェクト」の実現に向けた各種プロジェクトを、重点的に継続して実施していく。

な施策が、持続可能なまちづくりへとつながる「地域活性化へ向けた共生の芽」となり、着実に育ちつつあると実感している。  
本市では、5次にわたる総額約56億円となる緊急経済・生活支援対策事業を予算計上し、現在まで継続実施している。依然として本市の経済・雇用状況は厳しいが、昨年と比較し、市内の求人倍率も基調回復の傾向にある。これまでの対策が、少なからず市内経済の一定の支えになっていると、その効果を感じている。

**問** ①定期的に地域の商工業者の悉皆調査を行い、実態をつかみ支援すべきでは。②公契約条例や中小企業振興条例を制定し、地域内循環型の経済構築を図る考えはないか。

**問** 協働のまちづくりの基礎は、人権確立をめざすまちづくりであると考えますが、協働の力で笑顔が輝くまちの市長の認識を伺う。



た か あ き  
谷口 隆明 議員

【会派】日本共産党

基本政策として「協働の力で笑顔が輝くまち」を掲げ、「人権尊重のまちづくり」を推進している。依然として歴史的、社会的な背景のもとで、さまざまな差別や人権に関わる問題が存在している。あらゆる偏見や差別を撤廃し、さまざまな人権を認め合い、市民一人ひとりがお互いの人権を尊重するまちづくりを進めていかなければならない。市民一人ひとりが、お互いの人権を尊重し合い、その共存を図っていくことが必要である。

**答** ①中小企業者の悉皆調査は、地場産業の実態を把握する有効な手段の一つであるが、入手可能な情報をもとに課題の分析を行い、問題を整理し、必要な情報について、調査を行うことが効率的であると考ええる。

**問** 協働のまちづくりの基礎は、人権確立をめざすまちづくりであると考えますが、協働の力で笑顔が輝くまちの市長の認識を伺う。

②公契約条例については国において関係法令を整備することが必要であり、本市において独自の条例制定を行うことは考えていない。法令の整備については、今後も市長会を通じ要望を行っていく。  
本市では現在、中小企業振興条例や中小企業資金融資条例を制定して、中小企業への支援を具体的に実施している。  
今後も、地域経済の健全な発展及び市民生活の向上を図るため、あらゆる施策を総合的に推進していく。

商工会議所や商工会と連携を取り、既存のデータを有効に活用しながら、地場産業の実態把握に努め、支援等の施策を検討していきたい。



その他の質問  
○市政運営の基本について  
○組織機構のあり方について  
○木質バイオマス活用プロジェクトについて

**答** 組織機構は、行政サービスを展開・提供するための手段である。新たな住民ニーズや行政課題、国の動向、社会情勢の変化など時代要請に際して、柔軟かつ迅速に対応できる組織、また、市民に分かりやすい組織となるよう、その都度見直されるべきものであると考えている。

**問** 組織機構の改革は、もつと長期スパンで取り組むべきでは。

組織機構のあり方について

個人質問



よこ じゅき 横路 政之 議員

支え合う  
地域社会づくりについて

問

①地域社会の担い手である民生委員の負担軽減を強化すべきではないか。  
②緊急時に必要な情報を収納した「命のカプセル」を配布してはどうか。  
③市民の力を活かせるボランティアポイント制度を創設してはどうか。

答

①常に献身的な姿勢で市民生活の安心をはぐくみ、地域と行政のかけ橋として日夜、尽力いただいているが、経済的、肉体的、精神的に相当な負担が伴っている。活動しやすい環境整備について、現在の協力、連携関係を維持しながら、引き続き「意見、要望」に耳を傾け、委員の皆さんと一緒に考えていきたい。  
②現在、ひとり暮らし高齢者等巡回相談員の定期訪問、緊急通報装置給付事業などの取り組みによって、命のカプセルと同等以上の成果が上がっている。

引き続き、現行制度の改善等を検討する中で、取り組みを継続したい。

③近年、ボランティア活動の誘発とその功労に報いることを主な目的として、都市部を中心に幾つかの自治体で取り組まれている。本市では、ボランティアの主体を、あるべき姿とされる地域民間に委ねている。これまでのところ、励みとしての特典を求める声は聞き及んでおらず、現時点での制度創設の必要性は低いのではないかと判断している。

AED(自動体外式除細動器)  
マップの作成について

問

①AEDの設置箇所は何力所か。  
②行政の責任として、定期保守等の管理を徹底すべきではないか。

答

①現在把握している限りでは、全体で103カ所である。  
②正常に作動するための日常点検などは、設置している施設等の管理者に求められるものと認識している。市としては、公共施設の管理者としての保守点検を行うことは当然であるが、その他適切な管理を促す広報活動などについて、今後、備北地区消防組合などの関係機関と協議し、検討したい。

横路政之員のその他の質問

○高齢化社会に対する積極的な投資を



ふじ き 藤木 邦明 議員

本庁舎の障害者、高齢者、妊婦等の優先駐車場に屋根を設置することについて

問

障害者、高齢者、妊婦等の優先駐車場に屋根を設置すべきだと考えるがどうか。

答

庁舎と西楽寺の間にある「高齢者等優先駐車場」には、駐車幅9m程度で、2台ないし3台分の駐車マスを屋根を設置することが可能であるので、今後検討していきたい。

庄原保育所の民営化をやめること

問

移転改築後の庄原保育所は、市内で一番大きな保育所となる。子どもたちにより良い保育を行うためにも、すべての職員を入れ替える民営化はやめるべきではないか。

答

指定管理者制度は、平成16年度以降、4つの保育所において導

入している。その間、保育士の配置は国の最低基準に比べ多く配置するなど、保護者の皆さんからも高い評価をいただいている。公設公営保育所も公設民営保育所も、市が設置する市立保育所であり、市の保育指針などに基づいて保育内容であるため、指定管理者制度導入後も保育内容が変わることはない。また、今後の保育所運営については、現在国で作成中の子ども子育て新システムの検討状況等も見極めながら取り組みたい。

藤木邦明議員のその他の質問

- 飲料水用ボーリング助成を増額すること
- 生活道の舗装、改良助成を増額すること
- 庄原市総合サービス(株)は法人税を納めなくても済むよう経理を指導すること



市役所本庁舎高齢者等優先駐車場



一般質問



さかもと よしあき 議員 坂本 義明

商工業振興策について

問

①デイスカウントストア等の企業進出により、商店街が壊滅に近い状態にある。将来買い物弱者が発生すると考えるが、対策はあるのか。  
②鉱工業の対策が見当たらないが、計画等はあるのか。  
③尾道松江線の開通を見越した具体的な企業誘致をしているのか。

答

①現在、空き店舗等の改装費や家賃補助などの支援を行っている。また23年度からは、市内全域を対象とした小売店舗等の改装補助も予算化している。商工会議所等と連携し、商店街の機能維持を目標に、市民の意識改革、商店街でモノを買ってもらおう仕組みを検討していきたい。  
②現在、鉱工業者に限定した支援制度はないが、地場企業・鉱工業者・県立広島大学の共同開発に支援をしている。また新年度においても、中小企業を対象とした補助金・融資など、引き続き支援を行うこととなる。

③これまで、商工観光課企業立地係を中心に企業情報の収集に努めている。今年度は関西を中心に本市に縁のある企業等を訪問した。市民が安心して生活をおくるためには、雇用の場の確保は重要な課題であり、引き続き、積極的なPR活動に努めることも、現行の企業立地に係る優遇制度の見直しを検討するなど、これまで以上に取り組みの強化を図りたい。

斎場建設について

問

庄原地区斎場について、建て替えるのか。また、各地域にある斎場の再編統合を含め、将来の方向性について伺う。

答

新年度予算に新斎場建設のための検討委員会設置経費を計上しており、市民の皆さんのご意見・ご要望をいただく中で、23年度中に基本計画をまとめ、地元協議や環境調査等を行い、平成27年度の工事完成に向けて取り組みを進めていきたい。検討委員会においては、新斎場の建設位置や規模の検討と合わせて、各斎場の地理的な条件や利用状況、季節条件等も加味しながら、将来に向けた総合的な再編の検討をしていただきたいと思います。

新年度予算について



とくなが ひろあき 議員 徳永 泰臣

問

限られた予算を配分するには地域バランスも重要な観点と捉えているが、どのように認識されているか伺う。

答

新年度予算案では、庄原中学校改築・とうじょう自治総合センター整備・高野観光交流ターミナル(道の駅)整備といった大型事業に取り組むため、単年度のみでとらえた場合、各地域間での事業費に差異が生じているが、後期実施計画では、西城保育所の大規模改修事業、口和の音の館整備事業、総領文化会館改修事業をはじめ、全地域での道路新設改良事業など、中長期的なバランスも視野に入れ、一体的な発展に配慮した事業計画としている。地域ごとの主要事業に焦点を当てることが、市の底上げへと結びつき、市域全体の発展につながるものと考えている。また地域バランスについても、それぞれの地域が、その特性に応じた機能を実現し、連携することにより、バランス

のこれた地域社会の形成が図れ、市域全体の一体的な発展へつながるものと考えている。  
有害鳥獣(野ザル)の対策について

問

平子地域には、野ザルの群れが住みつき被害も拡大している。早急に効果的な被害防止策を期待するものだが、所見を伺う。

答

市としての今後の防止策については、単独市費による有害鳥獣事業を活用し、進入防止ネットなどの購入に対する助成を行うとともに、捕獲班による追い払いや捕獲の実施など、被害防止に向けた取り組みを継続、実施していく。また、農家や地域で取り組める防除や追い払い対策などの講演会の開催や、広報等による、サルに出会ったときの対応策の周知など、サル対策の啓発にも取り組んでいきたい。鳥獣被害防止への取り組みは、今後においても重要な課題であると考えており、国や県の制度の有効活用も含め、積極的な対策を講じていきたい。



こ だに つる よし  
小谷 鶴義 議員

市長の市民目線とは

**問** 地方経済はいまだ回復せず、農業・商業は離農・閉店に追い込まれ、年金暮らしの生活も大変である。介護保険料も引き上げが予想される中で、今回の国民健康保険税値上げの条例改正は、市民目線とは言いがたいと思うが、見解を伺う。

**答** これまで、被保険者の負担については、できる限り低く抑えるべきとの信念のもと、財政調整基金の保有額及び取り崩しの状況を勘案する中で、保険税率を据え置いてきたが、将来にわたって安定的な財政運営を図るためには、来年度から保険税率を改定し、見込まれる財源不足の一定部分は税収のアップで確保する必要があるとの判断から、最低限の引き上げについてお願いするよう、条例改正案を提出した。市民にとっては、現在より負担が増加するという点で、厳しいお願いと理解しているが、課題への対処を後年度へ先送りすることは、後の大幅な増税を

招くことにもつながることから、庄原市国民健康保険運営協議会に諮問し、承認いただいた上で、来年度での改正に踏み切った。改正の内容については、所得の低い方への引き上げ幅を抑えるなど一定の配慮をした提案としているので、背景にある医療費の増加による厳しい保険財政の運営の現状や、引き上げ後の1人当たり保険税額は県内で低位にある状況などを総合的に考慮いただき、ご理解をお願いしたい。

学力格差について

**問** 学力格差を感じているか。また、教育委員会で学力格差がつかないような勉強の取り組みについての議論を行っているのか伺う。

**答** 学力の個人差はあると考えるが、家庭の経済的な要因等で、学力格差が広がっているとの状況は把握していない。  
また、教育委員会には、本市の子どもの状況も報告する中で、さまざまな改善策について意見をいただいている。さらに、学校公開時には教育委員も参加し、児童生徒の授業の状況等を把握した上で議論を行っている。



はやし たか まさ  
林 高正 議員

集落支援員制度について

**問** 新年度の新規事業として、集落支援員制度を導入し、地域マネージャーの配置を希望する自治振興センター化している自治振興区に対して配置することだが、具体的内容を伺う。

**答** 地域マネージャーの設置は、集落の維持・活性化を図り、安心して生活できる地域づくりを一層推進することを目的とし、その主な業務内容は、集落点検の実施や、集落のあり方等についての話し合いの促進など、国が示す集落支援員の活動を想定している。現在、本制度の実施に向け準備を進めているが、自治振興センターの指定管理を受託した自治振興区が地域マネージャーを設置する場合には、その人件費に係る経費を交付金として交付するよう計画している。交付額は1人当たり月額7万3,000円を上限として予定し、新年度予算に計上している。地域マネージャー、関係自治振興区、自治振興区連合協議会及び市が密接に連携するようになり、

集落対策の推進を図っていきたい。

光ファイバーの再検討について

**問** 施政方針演説で光ファイバーについて再検討するとの発言があったが、光幹線は自前で整備するのが、事業者により整備するのが、

**答** 光ファイバーの整備については再検討を行うこととしたばかりであり、検討する事項についても、今後具体的に決定していく。19年末、光ファイバーによるケーブルテレビ整備事業を凍結し、代替措置として、DSL、無線LANなどによって整備を行ってきた。高度情報化社会の進展に伴い、インターネットでは動画など大容量の情報を扱う機会が多くなってきたり、超高速大容量の情報通信基盤整備が求められている。このような状況を踏まえ、光ファイバー網の整備について再検討を行うこととした。

光幹線を自前で整備するのか、事業者により整備するのかは、整備手法も含めて今後の検討課題となる。今後、調査においては通信事業者の考え方及びこれからの事業展開の方向性についても情報を収集するよう考えている。

林高正議員のその他の質問  
○農林業振興について



# 一般質問



あかぎ ただのり 議員  
赤木 忠徳

住みやすい  
庄原市をめざすために、  
やさしさを實現する施策を

## 問

①本市の冬を快適に過ごせるために、2月議会でも提言したが、高齢化が進む本市は、いち早く高齢者に対してやさしさあふれる日本一住みやすい、高齢者にやさしい市となるために、冬季対策指針を各課が垣根を越えて作成すべきでは。

②今年度は多くの家庭で、水道管の破裂があったと報告された。個人の自主防衛の枠を超えているのではないかと  
思う。減免等の方策は。

## 答

①2月に情報提供をいただき、現在、関係部署に支援策を検討するよう指示をしている。除雪対象の範囲を雪おろしのみとするのか進入路なども含めるのか、支援の形態を金銭援助とするのか業者委託とするのか、対象世帯や費用負担をどう定めるのか、同一時期に集中するため、優先順位の設定が必要かどうかなど、調整が必要

な事項も数多くあり、今回の各支所の対応状況なども踏まえて、今年の冬までには制度化できるよう、前向きな取り組みを進めたい。

②今年1月の寒波で、本市においても水道管の凍結破損に起因する漏水が多数発生した。水道料金の減免措置については、庄原市給水条例などで定めているが、本市のような寒冷地においては、寒波が来ることは想定できること。現に水道管の凍結防止対策をされている家庭においては、凍結破損は起こっていないことなどから、通常の維持管理の範囲内として減免要件には該当しないと判断せざるを得ない。毎年、広報しよばら12月号で凍結対策のお知らせを行っているが、今後は市のホームページや行政文書等も活用し、冬季の水道管の凍結防止対策をより周知していく。



## 議会運営委員会

### 視

### 察 報 告

#### 視察先

●佐賀県佐賀市議会

#### 視察目的

●先例市議会の議会基本条例の運用状況について調査し、今後の議会運営の参考とする。

#### 視察概要

●議会報告会の実施

○会場設営から運営まで議員で実施。

○報告会開催の周知は議会日より、議会ホームページで行うほか、チラシ1万枚を配布。

○報告会実施時にアンケートを実施。(参

加しやすい時間帯を望む声、報告会の定例化を望む声、また参加したい、小学校区での開催要望などの意見が寄せられた。)

●参考となった事項

○条例制定後、議員間の討論・議論が盛んになった点。

○議会報告会実施に当たっては規程を作り、早くから地域とも協議を行い、市民へ周知している点。また、出された意見等について、ホームページに公開されている点。

#### その他の視察先

●福岡県春日市議会

## 可決された 意見書

3月定例会では議員発議による次の意見書が可決され、関係機関に送付しています。

### 国民健康保険の広域化に反対し、国庫負担の復元を求める意見書

国民健康保険制度の安定的かつ健全な運営を図るため、次の事項の実現を要請しました。

1. 国庫負担割合を従前の負担割合に計画的に復元すること。
2. 国民健康保険の広域化(都道府県単位での統合)は行わないこと。

## 庄原市と環境ベンチャー企業(株)ジュオンの 共同事業に関する調査特別委員会

# 最終報告

### これ以上の市費投入は避けるべき

本市と(株)ジュオンは、森林保全による里山再生と循環型社会構築による環境保護をめざし、市内の豊富な森林資源を活用した木質バイオマス関連事業を相互に連携して推進してきましたが、平成22年11月30日、(株)ジュオンは同年月日をもって営業を停止し、今後は破産申立をする予定である旨の告示がありました。市議会では、平成22年12月16日開催の定例会において、議員25名による特別委員会を設置し、平成22年12月16日から平成23年3月18日にかけて委員会を7回開催し、執行者の説明や提出を

求めた資料等によりこれまでの事実経緯、背景、今後について、議会が果たすべき役割などについて調査を行ってきました。

3月25日の本会議において、この間の審議状況や審査の中で明らかとなった問題点、提言等について、委員長から報告がありました。その概要は次のとおりです。

#### 報告事項(要旨)

庄原市バイオマスタウン構想の策定に呼応して(株)ジュオンの事業展開が本市において行われ

てきた。

当初計画の段階では事業性、採算性への懸念、技術確立への懸念が社団法人地域資源循環技術センターから指摘。資金面でも若干の不安をかかえつつ、経費削減する目的で手法をかえ、事業計画の変更を余儀なくされ、再三にわたり事業計画を変更。当初計画からかけ離れた事業計画になるとともに、販路の確保の懸念など、それに対応するため長期の時間を要し実効性の欠如が露呈し、計画の推進に多大な影響を及ぼしたと言わざるを得ない。

市長からは、このような事態に至ったことは広義の意味では大いに責任があると思っている。この事業を誘致したことについての見通しの甘かったこと自体は、私自身も責任として感じざるを得ないが、この理念そのものについては間違っていない。できるだけこの事業はどうかして継続していきたい。続行していきたい気持ちでいっばいである。それに向かつて今全力投球をしていると説明があったところである。

しかし、今後の動向によっては次のことが考えられ、議会としては注視する必要がある。この件に関し動きがあった場合は、逐次議会に対し説明を行うとともに、次により十分調整、協議を行い、進めるべきである。

ばないように処理をしなければならぬ。

② 事業再開あるいは事業の継続あるいは事業の譲渡という面から、このバイオマス事業が継続できる見通しが立った場合、再建スキームのプロセスを含め議会で説明を行うこと。そして、再建に当たっては、詳細な再建計画案を提示し報告するとともに、これ以上の市費の投入は避けること。

① 事業中止ということになった場合、国に交付金の返還義務が生じる可能性がある。(補助金総額 4億8,498万9,000円) 交付金を返還する事態が生じ、実施主体に返還能力がない場合においても、市に絶対損害が及

③ (株)ジュオンがリフレッシュユハウス東城に設置している木質チップボイラーの運転休止に伴い、熱供給契約に基づく履行が中断した状態にあり、契約不履行に伴い発生する賠償金、違約金について時期を見て一定の整理を行うこと。また、二酸化炭素排出権取引への影響が生じることが確実視されるが、取引先と協議調整し休止による影響を最小限に留めること。また、休止による補助金返還が生じることが想定されるが、市費の投入は避けること。



常任委員会

活動報告

議会閉会中の各常任委員会の活動状況は次のとおりです。

総務財政常任委員会

自治振興による

まちづくりについて

「まちづくりリーダー育成」の取り組みについて島根県雲南市において調査を行った。

① 雲南市の取り組み

【まちづくり講座】

市民が主役の自治のまち実践に向けて取り組むため、参加者の気づき、やる気、元気を引き出せる講座として開催。

【まちづくりリーダー講座】

計画的に事業等を推進する必要から、専門的な能力の習得および向上につながる実務的な研修とし、併せて参加者相互の情報交換や交流の場として開催。

② 視察を通しての提言

本市の自治振興区は、人口の減少による地域活力の低下、後継者不足等により、次代を担う地域リ

ーダーの育成が進んでいない実態がある。次のことについて先例に学び、できることから実行または指導・助言されたい。

◎住民自治組織の活力醸成などを目的に戸主以外の声を活動に反映させるため、個人を対象にワークショップやアンケート調査を実施していること。

◎地域マネージャーが地区の事業計画の企画を策定、地区内の巡回や困りごと相談まで幅広く活動してコーディネイト役となっていること。

◎個人の特技を活かした活動を展開し、女性を重視した事業の推進に努めていること。

◎個人を尊重し、粘り強く地域がリーダー候補者を支援しながら研修を重ねていく体制の整備を図っていること。

教育民生常任委員会

学校における

食育の推進について

学校における食育の取り組み方針と学校給食における地場産物の活用状況の観点から調査を行った。

① 学校における

食育の取り組み方針

各学校において、「食に関する指導の全体計画」及び「食に関する指導の年間指導計画」を作成し、継続的・体系的な指導を行っている。

② 学校給食における地場産物の活用

(1) 地元産野菜の供給方法

庄原地域は、庄原地域学校給食会からJA庄原を仲介にして購入。その他地域は、学校栄養職員等が、直接、地元生産者または地元商店から購入。

(2) 使用状況(庄原地域)

重量ベースで24・1%(平成21年度実績)

(3) 地元産野菜の使用率を向上させる上での課題

地元産野菜の購入について、庄原地域については、組織的な体制ができていないが、他の地域には、組織的な供給体制はできていない。また、調理に当たっては、規格がある程度そろえられていなければ調理作業に支障をきたすこととなり、調理員の増員等により対応せざるを得ない状況がある。

③ 今後の取り組みについて

地場産物の活用について、庄原地域では、JA庄原を仲介にするなど組織的な供給体制はできつつあるが、各地域でも組織的な対応

ができる方策をこれから研究していただきたい。

そのほか、生活交通について、障害者福祉の取り組みについて、学校施設の整備について、庄原保育所建設事業についての調査を行った。

産業建設常任委員会

市営住宅(雇用促進住宅)の現状について

雇用促進住宅を譲り受けた近隣自治体の状況と庄原市の状況を調査した。

① 近隣自治体の状況

【三次市】

●雇用促進住宅の取得  
平成21年度  
4団地320戸 1億6,633万8,371円(土地建物)

【安芸高田市】

●雇用促進住宅の取得  
平成21年度・平成22年度  
3団地240戸 1億4,180万7,184円(土地建物)

② 本市の状況

●雇用促進住宅の取得  
平成23年度  
2団地160戸 1億935万

8,174円(土地建物)  
●管理開始予定  
平成23年度(6月1日)

●取得予定住宅  
庄原宿舍、東城宿舍

※平成25年度取得予定 宮平宿舍  
●住宅取得後の入居要件  
主に勤労者向けの住宅としての位置づけとする。

●住宅取得後の家賃の考え方  
庄原宿舍(戸郷市民住宅)  
2DK 2万5,900円を基準  
3DK 3万2,200円を基準  
東城宿舍(東城市民住宅)  
2DK 2万3,200円を基準

●募集開始予定  
可能な限り早い段階で募集し、早期の入居ができるよう対応する。

③ 意見等

◎近隣自治体の取得価格からみて、本市の雇用促進住宅取得予定価格は高いのではないかと。交渉の余地はないのか。  
◎庄原宿舍の風呂釜をシャワー付に取り替えるべきではないかと。(東城宿舍はシャワー付)

そのほか、ごみ処理施設及びし尿処理施設の現状についての調査を行った。

# 議会基本条例を 制定しました

## 基本条例制定に至る経緯

地方分権の進展に伴う自治体の自己決定権と自己責任の拡大等に対応し、地方公共団体の意思決定、執行機関に対するチェック等において、地方議会の果たす役割が一層増してきました。

これに対応して、全国の地方議会において議会の活性化に向けた議会改革の取り組みが行われてきました。

庄原市議会においても、本会議における対面方式による一問一答制の導入や議員個々の議案に対する採決結果(賛否)の表示を行うなど、市民にわかりやすい議会運営に向けて取り組んできました。

議会基本条例制定への取り組みは平成22年から本格的に開始し、京丹後市議会をはじめとする議会基本条例を制定されている先進事例の調査を行うとともに、自治振興区を中心とした議会懇談会の開催や3,000人の市民を対象とした議会に関するアン

ケートを実施など、市民の意見を聞く機会を設けるとともに、今後の議会のあり方について議会運営委員会を中心として様々な角度から検討し、原案づくりの作業を行ってきました。

そして、この条例案を広く公表し、市民から提出いただいた意見を考慮して、3月定例議会において、議員全員の賛成により制定されたものであり、今まで行ってきた議会改革を風化させないために、議会の公正性・透明性を確保することによる市民に開かれた議会、市民参加を推進する議会をめざすため、議会運営の基本的事項を明文化したもので、4月1日から施行しています。

この条例は総則から最高規範性と見直し手続きまでの全21条で構成しています。条文自体は記載していませんが、条文に定めている内容を示したものです。

## 条例の主旨

この条例は総則から最高規範性と見直し手続きまでの全21条で構成しています。条文自体は記載していませんが、条文に定めている内容を示したものです。

## 総則

### 目的(第1条)

この条例は、市民福祉の向上と市政の発展を目的に、情報公開と市民参加を原則とした議会運営の基本事項を定めたものです。

### 議会の活動原則(第2条)

議会には、条例を制定し、地方公共団体の行政運営の基本事項を議決し、市政運営のチェックを行う責務があります。活動の基本的な考え方、方針を定めています。

①議会は、執行機関が行う市政運営をチェックし、評価すること、  
②市民の多様な意見を把握して、政策立案に取り組みること、③議会の情報公開と議会で審議過程から議決結果までをわかりやすく説明する責任があること、④申し合わせ事項を継続的に見直すこと、⑤傍聴意欲を高めるような議会運営に努めることを定めています。

### 議員の活動原則(第3条)

①多様な市民の意思を反映し、議員間における自由な討議を推進していくこと、②議員が、市政全般の課題と市民の意見等を把握し、自ら資質の向上に努め、市民の代表としてふさわしい活動を行うこと、③議員は、議会を構

成する一員として市民全体の福祉の向上のために活動することなどを定めています。

### 市民と議会の関係

#### 会派(第4条)

議会活動を行うために同一理念を持つ議員が集まる会派の位置づけや機能を定めています。

### 市民参加と市民との連携(第5条)

①議会の果たすべき事項として、提出された資料等の情報を閲覧などをおし、市民に発信していくことと説明責任について、②これまでも本会議だけでなく委員長等の許可により各常任委員会、特別委員会、議会運営委員会、議員全員協議会は原則公開との運用を行っていますが、会議の開催日や会議資料の提供など「成長する議会」となるよう努めること、③市民が議会の活動に参加できるように、懇談会や議会報告会などを開催し、議員自らが積極的に地域に向き市政に対する情報を提供することともに市民の意見を交換する場を設けること、④法律の制度を活用し、市民の専門的識見等を議会に反映させること、⑤請願・陳情を市民の政策提案と位置づけ、提案者の意見を聴取する機会を設けること、⑥市

民との意見交換の場を多様に設け、政策提案の拡大を図ることなどを定めています。

### 市長等執行機関と 議会及び議員の関係

#### 緊張感の保持(第6条)

自治体は二元代表制により市長と議会が、ともに市民を代表し、相互の牽制と均衡により、お互いの専行を抑制する体制をとっています。その目的は市民福祉の向上のため相互に緊張を持ち続け、それぞれの責務を果たすことにあります。①議員が市民の代表として市政に対して提言等ができる一般質問を一問一答方式とすることで、論点をわかりやすくすること、②現在の議会では、議員から市長等へ質問や議案の不明確な部分を尋ねる質疑について定めたものではありませんが、市長等から議員へ質問等をする規定はありません。論点を明確にするため、市長等が議員の質問趣旨や意図を確認するための質問ができることなどを定めています。

### 市長による政策等の 形成過程の説明(第7条)

市長が重要な政策等を提言する場合、6つの項目について説明を求めることを定めています。こ



ここで規定している政策等とは、中・長期的にわたるまちづくりの基本方針や市民生活に及ぼすことが予想される計画及び施策事業です。提案された政策等は、議会です十分議論することはもちろんですが、その政策等が着実に執行されているかどうかを議会として検証し、決算審査において、その政策評価を行うことを定めています。

**予算及び決算における政策説明資料の作成(第8条)**

市長が、予算案や決算を議会に提出するに当たり、政策等の説明と同様に、市民の代表である議員が審議を深めやすいよう、分かりやすい説明資料の作成に努めるよう市長に求めることを定めています。

**地方自治法第96条第2項の議決事件(第9条)**

地方自治法で定められた議決事件以外の事件について、「地方自治法第96条第2項の規定による議会の議決すべき事件を定める条例」で、同法第2条第4項に規定する基本構想に基づく基本計画の策定、変更又は廃止に関することを定めています。

**討論の拡大**

**討論による合意形成(第10条)**

①議会は、討論の場であることの確認、議員間の討議を中心に運営に努めること、②議会は、本会議委員会において議案審議等の結論を出す場合、議員間で十分に討論・議論を尽くして合意形成に努めること、市民に対し結果の説明責任を果たすこと、③議員は、自らも積極的に政策、条例、意見書等の議案を提出する努力を行うことなどを定めています。

**委員会の活動**

**委員会の適切な運営(第11条)**

①委員会においても、公平性・透明性を心がけることはもちろんですが、市民にわかりやすい審査に努めること、②委員会では、市長から提案された議案等を審査するだけでなく、委員自らの提案や市民との意見交換の場での議論となった市民からの提案や関心事について、地方自治法に規定されている所管事務調査を積極的にに行います。最終的に委員会として意見集約ができたときは、本会議で委員長報告を行い、必要に応じて政策提案(提言)として発信していくこと、③委員会の適正な運営にあたり、多様な意見聴取

の手法として、必要に応じて地方自治法に規定されている参考人制度や公聴会制度を十分に活用していくことについて定めています。

また、これまで請願や陳情の審査は、請願については紹介した議員が説明していましたが、陳情については提出された陳情の文面だけを審査していました。今後は請願・陳情とも可能な限り提出者本人を参考人として審査の場へ呼んで、直接意見を聴取することも考えています。

**議会及び議会事務局の体制整備**

**議員研修の充実強化(第12条)**

議員の資質及び政策立案能力向上のため、議員研修を充実強化することを定めています。

**議会事務局の体制整備(第13条)**

議会、議員の政策立案機能を高めるため、事務局の体制整備と強化について定めています。

**議会図書室(第14条)**

議会図書室の充実を図り、有効活用を図ることを定めています。

**議会広報の充実(第15条)**

議会は、市政の重要な情報を市

民に周知すること、情報技術の発達を踏まえた広報の充実などを定めています。

**議員の政治倫理、身分及び待遇**

**議員の政治倫理(第16条)**

議員は、市民全体の代表者として、疑惑を招くことのないよう活動を行っていくことを定めています。議員の政治倫理は、別の条例で定めています。

**議員定数(第17条)**

「庄原市議会議員定数条例」で25人と定めています。議員定数の改正は、行財政改革の側面だけではなく、市政の現状や将来展望等を踏まえて総合的に検討し、また参考人制度や公聴会制度を活用して、広く市民の意見を聴取することを定めています。(地方自治法上の議員定数上限は26人)

**議員報酬(第18条)**

「庄原市議会議員の報酬及び費用弁償に関する条例」で、議長41万円、副議長35万5千円、常任委員会の委員長33万5千円、副委員長33万円、議員32万5千円と定めています。

報酬の改正にあたっては、行財政改革の側面だけではなく、市政

の現状や将来展望等を踏まえて総合的に検討し、また参考人制度や公聴会制度を活用して、広く市民の意見を聴取することを定めています。

**最高規範性に見直し手続**

**最高規範性(第19条)**

この条例を庄原市議会における最も基本的な取り決めと位置づけ、議会に関する条例などを制定する場合には、この条例の趣旨を尊重することを定めています。

**議会及び議員の責務(第20条)**

条例の理念、原則に基づき、議会が市民を代表する合議制機関としての責任を果たすことを定めています。

**見直し手続(第21条)**

この条例の目的が達成されているかどうか検証し、その結果を受け、条例改正等必要な措置を講じることを定めています。

庄原市議会基本条例ほか関連条例は、庄原市議会のホームページでご覧になれます。

# 議会の動き【2・3・4月】

2月	
1日	議会運営委員会
3日	議員全員協議会 議会運営委員会
8日	議会運営委員会
10日	議会広報委員会 <b>第1回市議会臨時会</b> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">初 日</span>
	庄原市と環境ベンチャー 企業との共同事業に関する調査特別委員会 総務財政常任委員会 産業建設調査会 産業建設常任委員会
14日	議会運営委員会 行政視察 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">～15日</span>
17日	教育民生常任委員会
22日	総務財政常任委員会 議員全員協議会
23日	議員全員協議会 庄原市と環境ベンチャー 企業との共同事業に関する調査特別委員会
24日	議会運営委員会
28日	総務財政常任委員会

3月	
3日	<b>第2回市議会定例会</b> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">初 日</span> 予算審査特別委員会 総務財政分科会 教育民生分科会 産業建設分科会 正副主査会議
4日	総務財政常任委員会 教育民生常任委員会
7日	総務財政分科会 教育民生分科会 産業建設分科会
8日	総務財政分科会 教育民生分科会 産業建設分科会
9日	教育民生分科会 産業建設分科会
10日	正副主査会議 産業建設常任委員会 議会運営委員会
14日	議会運営委員会
15日	<b>第2回市議会定例会</b> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">2 日 目</span>
16日	<b>第2回市議会定例会</b> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">3 日 目</span>

3月	
17日	議会運営委員会 <b>第2回市議会定例会</b> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">4 日 目</span> 総務財政常任委員会
18日	議会運営委員会 <b>第2回市議会定例会</b> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">5 日 目</span> 予算審査特別委員会 庄原市と環境ベンチャー 企業との共同事業に関する調査特別委員会
25日	<b>第2回市議会定例会</b> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">最終日</span> 議員全員協議会 議会運営委員会 議会広報委員会

4月	
1日	議員全員協議会
12日	議会運営委員会
18日	議会運営委員会
19日	議員全員協議会
25日	議員全員協議会 <b>第3回市議会臨時会</b> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">初 日</span> 議会運営委員会 総務財政常任委員会 教育民生常任委員会 産業建設常任委員会 議会広報委員会

## 6月定例会の主な日程(予定)

日にち	主な会議名
6月16日(木)	本会議
6月21日(火)	本会議(一般質問)
6月22日(水)	本会議(一般質問)
6月23日(木)	本会議(一般質問)
6月24日(金)	本会議
6月28日(火)	本会議

※予定のため、変更となる場合があります。  
詳しくは議会事務局(TEL0824-73-1162)へお問い合わせください。  
本会議は、いずれも午前10時から開会の予定です。



議会広報委員会  
委員長 門脇 俊昭  
副委員長 谷口 隆明  
委員 福山 権二  
赤木 忠徳  
竹内 光義

## 編集後記

庄原豪雨災害、東北地方太平洋沖地震、規模こそ違い、改めて自然の猛威を思い知らされました。被災された多くの皆さまに、衷心よりお見舞い申し上げます。  
悲しみを知ってか、庄原市の桜も例年になく華やかさに欠けていました。  
さて、庄原市議会も議長、常任委員会の改選が行われ、新たなスタートを切りました。議員自ら策定した議会基本条

例は、議員の議会活動をより活発化させ、市民の皆さまに分かりやすい、開かれた議会をめざしたものです。  
「市議会だより」も紙面を通して議会活動をより分かりやすくお届けしたいとおもいます。  
今後とも市議会に対し、ご支援ご協力を宜しくお願いいたします。